

塾の目標：“聞く・見る学習の場” から“聴く・考える・話し合う学習の場”を目指す。

開講時間：午前10時～12時 会 場：東生涯学習センター

回	実施日	学習テーマ	学 習 目 標 (内容)	講 師 等
1	5月20日 (第3火)	・開講式 ・「雅な音色を楽しむ」～いにしへの調べ～	雅楽は、古代日本の歌舞と外来の音楽(中国・朝鮮・東南アジア等)の融合により平安時代中期に今の形式が成立したと考えられている音楽。管絃・舞楽・歌謡の三形態を有する。三管、二絃、三鼓の管絃は指揮者のいない世界最古のオーケストラともいわれている。しばし、いにしへの調べに耳を傾けてみよう。	雅遊会 葵雅楽会
2	6月17日 (第3火)	「江戸時代とポップカルチャー」 ～宝暦・天明期の文化～	今年の大河ドラマ『べらぼう～篤重栄華乃夢斬～』を素材として、江戸時代に生きた人々の暮らしと文化について考える講座。 また18世紀後半、急速に流行した「狂歌」「黄表紙」「浮世絵」について、版元として活躍した蔦屋重三郎の人物像と併せて理解を深めながら、現代社会との関連についても考える。	元栃木県立文書館長 鈴木 健一 氏
3	7月15日 (第3火)	「加齢と食欲低下」	「フレイル」や「サルコペニア」は高齢者が「要介護状態」や「寝たきり」になりやすい状態にあるという“共通点”がある疾患概念。加齢により心身が疲れやすく弱った状態であるフレイル(虚弱)と、フレイルの原因となる筋肉量の減少、および筋力が低下する症状であるサルコペニアについて知る。	独立行政法人 地域医療機能推進機構うつのみや病院 木平 百合子 氏
4	8月19日 (第3火)	「知っておきたい薬の知識」	病気やけがの治療などで大切な役割を果たす「薬」。しかし、程度に差はあるが、薬は効き目(効能・効果)だけでなく、副作用という「リスク」も併せ持っている。重い症状では死に至ることも。そこで、薬を安心して使うために、薬に関するリスクや正しい使い方、保管方法を学ぶ。	宇都宮市保健所職員 宇都宮市薬剤師会 薬剤師
5	9月16日 (第3火)	「食と農を地域でむすぶ」	グローバル化した現代社会では、食と農のむすびづきが見えにくくなっている。地域で食と農をむすぶことで、一人ひとりの食だけでなく、日常の生活を見直すきっかけになること、地域活性化の力になること、地域課題の解決する力になることを理解する。	宇都宮大学農学部 農業経済学科教授 西山 末真 氏
6	10月14日 (第2火)	「日本史上の著名人と栃木天皇家を支えた大久保利通とその家系」	幕末から明治初期の政治家大久保利通。大久保利通と天皇とのつながりや、本県との関わりについて知る。明治天皇の東北巡幸の先発として1876年5月下旬に本県を視察。初代県令鍋島幹に農工商業を奨励する「勸業」を勧めた。 本県が近代産業を興していく上で重要な契機となった勸業とは何だったのかを具体的に学ぶ。	元県立高等学校長 松本 一夫 氏
7	11月18日 (第3火)	「知って防ごう！だまされない知恵」～弁護士から聴く詐欺の話～	近年、デジタル技術の急速な発展に伴って、こうした技術を悪用した詐欺の手口が急激に巧妙化・多様化している。悪質商法、特殊詐欺などから消費者を守るクーリングオフ等の法律や、年々悪質化する詐欺の手口や未然防止策、また実際に被害に遭った時の対処法などを学ぶ。	NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット会員
8	12月9日 (第2火)	・「警察音楽隊の演奏と防犯講話」 ・閉講式	栃木県警察音楽隊は、“県民と警察を結ぶ音のかけ橋”として、様々なイベントにおいて、演奏を通じた広報活動を行なっている。演奏の合間には、犯罪被害・交通事故防止の講話や寸劇を行うなど、地域に親しまれる音楽隊として活動している。冬のひととき迫力ある演奏を楽しもう。	栃木県警察音楽隊